

淀川大橋床版取替他工事

今回実施する工事は、老朽化した箇所の補修とあわせて、重いコンクリート床版を軽い鋼床版に取り替え、橋台・橋脚への負担を軽減することにより、既存の橋台・橋脚を補強することなく、耐震性能を向上させます。

淀川大橋位置図



淀川大橋

橋長 L=724.5m

上部工

(中央径間)

鋼6径間単純上路式

ワーレントラス橋

(側径間)

鋼12径間単純鉸桁橋

下部工

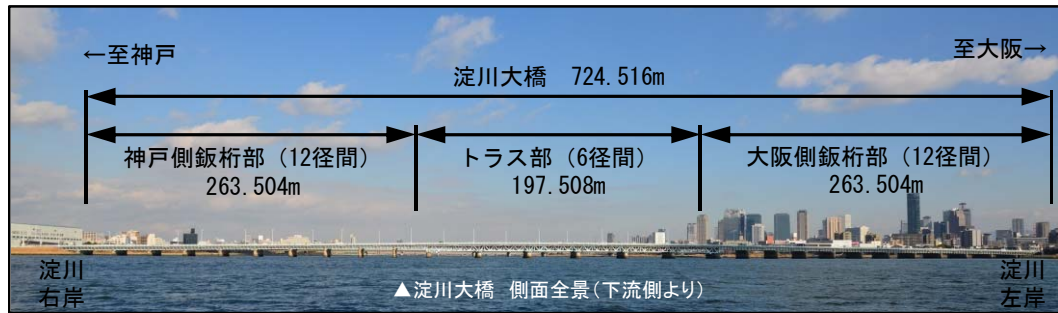
(中央径間) 円柱橋脚

(側径間) 控え壁式橋台

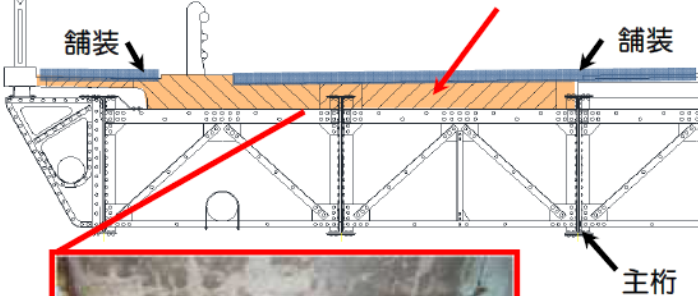
小判型橋脚

淀川大橋は、大阪府が施工し、大正15年に供用が開始されました。

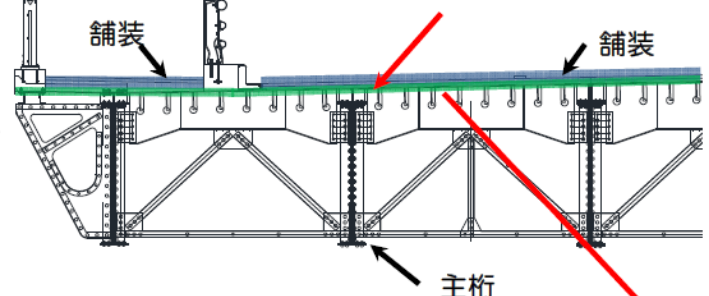
その後の管理を大阪市が行っていましたが、昭和33年に建設省(現国土交通省)に管理が移管されました。



劣化した床版(コンクリート部分)を撤去



床版を鉄板に取替え



コンクリートがはがれて中の鉄筋がむき出しに！鉄筋がさびています！

